

審議会等の会議録

| | |
|------------------|---|
| 審議会等名 | 海老名市高齢者保健福祉計画策定委員会 第6回会議 |
| 開催日時 (意見提出期間) | 令和6年1月18日(木) 午後2時から |
| 場 所 | 海老名市役所 6階 全員協議会室 |
| 出席者 (意見提出者) | <p>1 委員 (10名) 内山会長、前田副会長 守屋委員、勝田委員、豊永委員、江崎委員、窪倉委員、 三宅委員、辻 委員、杉山委員 ※安田委員は都合により欠席</p> <p>2 関係者 (2名) さつき町地域包括支援センター 大谷氏 海老名市基幹型地域包括支援センター 鈴木氏</p> <p>3 事務局 (12名) 保健福祉部長 伊藤 保健福祉部次長 小松 保健福祉部次長 篠原</p> <p>介護保険課長 田中 介護保険課課長補佐兼係長 栗本 介護保険課主幹兼係長 三浦 介護保険課主幹兼係長 横溝 介護保険課主査 永田</p> <p>保健福祉部参事兼地域包括ケア推進課長 金指 地域包括ケア推進課主幹兼係長 伏見 地域包括ケア推進課主任主事 山崎 地域包括ケア推進課主事 小川</p> |
| 傍聴人数 | 0名 |

| | |
|--------------|---|
| 公開の可否 | ■公開 □一部非公開 □非公開 |
| 一部非公開・非公開の理由 | |
| 議題 | (1)パブリック・コメントの結果について (2)最終案について (3) その他 |
| 資料 | 1 次第 海老名市高齢者保健福祉計画策定委員会第6回会議 次第 2 資料 【資料1号】 第9期えびな高齢者プラン21策定に係るパブリック・コメント実施結果について 【資料2号】 パブリック・コメント案から最終案への変更点について 3 参考資料 海老名市高齢者保健福祉計画策定委員会第5回書面会議結果(集約版) えびな高齢者プラン21(第9期) 策定委員会最終案 |

○会議の内容(提出された意見及びそれに対する回答)

| | |
|----------|--|
| 1 開 会 | |
| 【事務局】 | 《事務局の進行により開会》 |
| 2 あいさつ | |
| 【保健福祉部長】 | ○ 皆様方には様々な場面で市の保健福祉行政にご理解ご協力いただいていることについて、御礼申し上げます。 ○ 今年の幕開けは1月1日の能登半島地震で始まり、皆さんも驚かれたと思う。非常に多くの方がお亡くなりになり、未だ避難所生活等を強いられている方が多くいらっしゃることに关しまして、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに被害に遭われた方に対しましてお見舞い申し上げます次第です。 |

- この地震に対しまして海老名市で行っている取り組みについてこの場をお借りして情報提供させて頂きたいと思えます。
- 地震発生以降1月3日から小松市まで飲料水を最初に搬送し、その後小松市から、かほく市に運ばれました。
- 1月15日から17日の間に、アルピニストの野口健さんの団体NPO法人ピーク・エイドと一緒に寝袋500個とマット600個を被災地に向けて搬送しました。
- また県を通じて市の職員の派遣要請もあり、明日からは保健福祉部の職員が被災地へ派遣されます。
- また市独自の支援としては、七尾市に職員派遣を行っており、1月15日から6泊7日(約1週間)を1クールとしまして、継続して支援を実施する予定となっております。
- 保健福祉部といたしましては第3次派遣において、チームを作って支援にあたってまいりたいと考えております。
- また県を通じて被災者の方の健康管理のため、保健師・管理栄養士の派遣の要請がありまして、こちらにつきましても現在人選を進め、支援をしてまいりたいと考えております。
- 色々な話を聞くと、皆さん報道等でご覧の通り非常に厳しい状況で、被災地に支援に行っても宿泊している所から支援する現場まで車で毎日2時間かけて通ったりなどの厳しい状況が続いているようですけれども、海老名市としてもこの派遣要請に対しましては積極的に取り組んでいきたいという風に考えております。
- 皆様方には一昨年の12月に委嘱状を交付させていただいて以降、一年以上この計画の策定に取り組んでいただいたことに関しまして、改めてこの場で御礼申し上げます。
- 本日の会議では、パブリックコメントの結果についてご報告させていただきます。その結果等を踏まえた計画の最終案についてご報告させていただきますが、パブリックコメントの内容を拝見すると、非常に多くの意見をいただいております。本当にこの計画に対する市民の皆さんの関心の高さの現れかとも考えております。
- 結びになりますけれども、この計画の策定にあたりまして皆様方のご協力に心から感謝申し上げます。本日もよろしくお願いいたします。

3 議事

(1)パブリック・コメントの結果について

- | | |
|-------|--|
| 【会 長】 | <ul style="list-style-type: none">○ 皆さんこんにちは。本年もどうぞよろしく申し上げます。○ よろしく申し上げますと申し上げましたけれども、今日は会議としては最後ということです。○ ただこれで完成する訳ではありませんので、完成まではまだしばらく日にちを要しますので、もうしばらく完成までお付き合いを頂きたいと思います。○ 先ほど市の方から色々報告いただきましてありがとうございます。皆様方の関連の団体からも支援などしていらっしゃるかと思いますし、我々の日本医師会の方からもJMATなど既に色々各自が順番で行くようになってきているみたいです。○ 海老名も、どこでもそうですけれどもいつ災害が起こるかわかりませんので、保健福祉の中には災害は盛り込まれていませんけれども、そういうことも頭に置きつつ検討していただきたいと思います。○ 今後の進行は私が務めさせていただきますが、まず確認ですけれども、傍聴希望者はありますか？ |
| 【事務局】 | <ul style="list-style-type: none">○ 確認させていただいたところ、本日傍聴の希望はございませんでした。 |
| 【会 長】 | <ul style="list-style-type: none">○ それでは次第に沿って議事を進めさせていただきます。○ では議事（1）「パブリック・コメントの結果について」事務局から説明をお願いします。 |
| 【事務局】 | 《事務局から資料1号に沿って説明》 |
| 【会 長】 | <ul style="list-style-type: none">○ 今説明のあった内容は、その場で理解した上でお話しされることは中々難しいかもしれません。何かご意見、あるいは以前の会議で意見を出された方で、それに近いパブリックコメントがあると思いますけれども何かご意見ありますか？○ 考えていただいている間に私からひとつ。医療の方からお答えしたいと思ったのですが、p 3～4にかけてある「介護保険の適正な運営」の中に「末期がんで申請した場合」とありますが、確かにご指摘の通り「要支援」と出てしまう方がいらっしゃる。○ 私どもとしても、困った判定と思います。末期がんとなったら通常は「要介護2」がスタンダードです。 |

| | |
|-------------------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ ですが、審査の上で主治医の意見書の内容によってどうしても軽く出てしまう場合があります。これは医師会から医師向けに指導をしたり、神奈川県医師会として毎年主治医意見書の書き方という講習会を実施しています。 ○ 主治医意見書の最後の方に自由記載欄があるため、そこにしっかり現状を書いてもらうと判定がきっちり出るということなので、この辺はこれからも医師会でも教育等指導していくつもりです。 ○ これは冊子には載らないかもしれないけれど、そういった取り組みをしています。 ○ 他に何かご意見等ないようですので、次に進んで、また何かお気づきの点があったらご質問いただきたいと思います。 ○ では議事（２）「最終案について」ご説明いただきたいと思います。 |
| (2)最終案について | |
| 【事務局】 | 《事務局から資料２号及び策定委員会最終案に沿って説明》 |
| 【会 長】 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 説明ありがとうございます。 ○ 条例の検討具合によって変わってくる点というのは、最終案で「●」になっている部分の数字が埋まってくるということですね。 |
| 【事務局】 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 仰る通りでございます。例えばp118の「イメージ」と「●」になっているところなどは、最終的には全て掲載されるような状況になります。 |
| 【会 長】 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 変更部分についての説明がありましたけれども、第５回会議で皆様方それぞれ、お一人ずつご意見を言っていただきました。ご自分の意見はこちらに反映されているかどうか確認をしていただきたいと思いますのですがどうでしょうか。 ○ 何かご意見等ありましたらお願いします。 ○ 今日欠席されている方のご意見等は後で聞いていただくことになりますでしょうか。 |
| 【事務局】 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 本日欠席の委員からは事前にご欠席の旨をお話いただいております。 ○ 第５回会議の書面会議開催中に本日のご欠席ということはおわかっておりましたので「思いの丈は５回目の書面会議に乗せさせていただきます」ということでお言葉を頂戴しておりました。 |

| | |
|-------|--|
| 【会 長】 | ○ 今日の会議が皆さん集まる最後のチャンスでございます。 |
| 【事務局】 | <p>○ せっかくですので欠席の委員のご意見の方だけご紹介させていただきたいと思えます。</p> <p>○ フレイル予防について、簡易フレイルチェックの人数も含めてはどうでしょうか？とご意見いただきましたので、反映させていただいております。</p> <p>○ えびな安心キット・救急安心カードの文言の具体的な表記についてもご意見いただいたものになっております。</p> <p>○ 訪問型サービスのヘルパー養成人数の掲示についてもご意見いただきましたので、追加させていただいたものになっております。</p> <p>○ また「成年後見制度の活用」というところで「施策の方向性の中に市民後見人の役割も加えてはいかがですか」というご意見をいただいたのですけれども、構成を考えた結果、資料編の用語集に「市民後見人の役割・定義」について掲示させていただきました。</p> <p>○ 「ひとり暮らし高齢者安全点検」の部分についても、具体的に民生委員等という表記だけではなく、地域サロンもというところで文言の修正をいたしました。</p> <p>○ 簡単にですがご説明させていただきました。</p> |
| 【会 長】 | <p>○ ありがとうございます。</p> <p>○ どうでしょうか、集約版をご覧になって皆様方のご意見に対しての事務局回答が載っているということでもよろしいでしょうか。</p> |
| 【関係者】 | <p>○ パブリックコメントの実施結果と最終案に関係するところですが、パブリックコメントのp7「配食サービス」について。</p> <p>○ 質問者の方は配食サービスを「食事の確保」に重点を置いて意見を出されていると思うのですけれども、市の配食サービスの位置づけが安否確認というところで「緊急通報システムで安否確認の目的が果たせているので、ゆくゆくは集約されるものと考えております」とありますが、高齢者プランのp41で施策の方向性が「高齢者の見守り事業として、利用者のニーズや利便性に考慮しながら柔軟に検討します」という風に曖昧な表現になっており、集約しますと対応しますというところにズレがあるように感じます。</p> |

- 食事の確保という視点でみたら判断が難しくなるのですが、安否確認という意味でみたら、確かにパブリックコメントに書かれているように緊急通報システムでフォローができていますので、予定数が210人で設定しているものが130人という風に減らしていくのであれば先細りで令和22年で100人という設定は少し無理な話で「この事業は終わりますよ」という方が市の事業として自然なのではないかと感じました。
- 参考までに、配食サービスも緊急通報システムも地域包括支援センター手続きで取り扱いをさせていただいておりますので、今海老名市で採用していただいている緊急通報システムは大変優秀なもので、センサーがついて駆けつけサービスもあるので、見守りサービスとしてはすごく有効なものです。
- 見守りとしての配食サービスの必要性をしっかりとフォローできているので、そういった面で事業としての統合化というのをはっきりと明言していただいてもいいのかなと思います。

【会 長】

- ありがとうございます。今のことについて回答をお願いします。

【事務局】

- ありがとうございます。仰ってくださった通り、安否確認が必要な高齢者の方のお宅に、固定回線があるお宅の場合は電話線との間に弁当箱くらいの大きさの「緊急」や「相談」などのボタンがある緊急通報システムであるとか、ペンダント型の緊急のボタンを押すとコールセンターに異常を察知してもらうとか、人感センサーで、センサーの前を通れば動きがあるので大丈夫であるとか、加速度装置でドアの開閉をすると動きがあるということで問題ないといったような通報システムのところで、コールセンターにも繋がりますし、何かあれば警備員が駆け付けたり、またご利用者の方のご家族に連絡がいたりなど、見守りの観点からすると非常に優秀なシステムかなと考えています。
- 配食サービスが見守りという側面がひとつと、栄養改善という部分も制度としての考え方はあります。ただし、海老名市としては栄養改善ではなく安否確認として入っているので、そういった意味では緊急通報システムの方で見守りはできるけれども、今後栄養改善というような話が出てきた場合

| | |
|---------------|---|
| | <p>を鑑み「ニーズ」という表現になっているのだとは思いません。</p> <p>○ 安否確認のニーズについては緊急通報システムでまかなえるけれども、今後栄養改善のお話が出てくればそちらの方も検討しなければならないという意味合いでの記載、というような理解をしております。</p> |
| 【関係者】 | <p>○ ありがとうございます。「見守り」と「栄養改善」という2つのニーズで話をしていかなければならないので、そのニーズを分けるという線引きが配食サービスについて曖昧になっていると思います。</p> <p>○ 安否確認は安否確認でしっかり線引きをした方が、現状わかりにくい支援になってしまっているもので、これから検討していただいて整理いただいた方が市民の方にもわかりやすいのかな、と思いました。</p> |
| 【会 長】 | <p>○ 今仰っていた「安否確認」「栄養改善」という文言をどこか文章に入れて少しわかりやくするというのは可能ですか？</p> |
| 【事務局】 | <p>○ 施策の方向性のところで、栄養改善としてやっていくかどうかはまだ決めていないものですから、この方向性のところで「栄養改善等を検討する」というような文言を入れさせていただければと思います。</p> |
| 【関係者】 | <p>○ ありがとうございます。</p> |
| 【会 長】 | <p>○ ではそこを検討してください。</p> <p>○ 他にはご意見ありますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>○ では、概ねこういうことでいいということですね。議事（2）についてはこれで終わりということではよろしいでしょうか。</p> <p>○ 議事（3）「その他」に移りますが、皆様方から今日の議題あるいは議事について何か追加事項・意見等あればお願いします。</p> |
| (3)その他 | |
| 【副会長】 | <p>○ 出来上がったものの配布ですが、全員配布ではないと思いますが、どのような方法でこちらを手に入れることができるのか教えていただけますでしょうか。</p> |
| 【事務局】 | <p>○ 完成したものについては委員の皆様にお配りさせていただくと同時に、市のホームページにデータとして掲載します。ホームページではどなたでもご覧になれます。</p> |

| | |
|-------|---|
| | <p>○ 冊子としては大きな数を印刷することは難しいですが、関係機関、例えば地域包括支援センターなどにお配りさせていただくと、市の窓口にお越しになられた際にお渡しできる分については多少印刷してご用意しているところです。</p> |
| 【会 長】 | <p>○ 最近印刷物というのは段々なくなってしまっていて、必要な場合はダウンロードしてくださいということが増えていきますよね。</p> <p>○ 紙媒体も少しは必要かと思うのですが費用などもかかりますよね。</p> <p>○ 他にはよろしいですか。</p> <p>○ それでは今日最後の会議ということですので、ご参加いただいた委員の皆様方から6回に渡って開かれた会議に参加して、1年どうだったかを簡単に一言二言ご感想をいただきたいと思います。</p> |
| 【委 員】 | <p>○ 部分的に知っているものもありましたが、こんなにもたくさんの方の事業を市で行っているということを知ったものがたくさんありました。</p> <p>○ サロンを実施していても、サロンでこういうことが利用できるということなどは知らなかったことがいっぱいあったので、周知の仕方などをしっかりやらないとせっかくの事業が活きてこないな、ということを感じました。</p> |
| 【委 員】 | <p>○ 市がこれだけのことをしていることを今まで知りませんでした。</p> <p>○ 自宅が中心荘に近いので、何かあったら中心荘で相談してみようというような話をしていました。</p> <p>○ こういうのが出ていても見ない方というのはたくさんいらっしゃる。そういう方をどうやったらいいのかが一番の問題だと思います。</p> <p>○ 近所にもまるっきり人と付き合わない方もいらっしゃるのので、そういった方をどうしたらいいのかも課題だと思います。</p> |
| 【委 員】 | <p>○ サロンを運営していたりするんですけども、個々の方々がどんな状況にあるかは、接することができる人の問題というのは聞き取ることもできて情報も得やすいんですけども、本当に地域の中で過ごしていらっしゃる人々が今どうい</p> |

う状況にあって何が問題なのかということが、どなたにも伝わりにくい。

- 困った方が市役所なり地域包括支援センターに手を挙げて困っていると言えば、色んな事が反映されるというのはあるのですけれども、数軒先の方のこともわからないことが多いということがありますよね。
- こういう福祉計画が整っていても、どう運営、運用していくかというところが課題だな、と思っています。
- とにかく何かがあった時は、色んな方が役所などに繋いであげられるようなシステムを地域の中で作っていきたいとは思っています。
- 今回高齢者のプランに関わることができて、色んなサービスが充実していく過程にあるということを皆さんにお伝えできたらいいな、と思っております。ありがとうございました。

【関係者】

- 今回オブザーバーとして参加させていただきまして、高齢プランを一通り見ていたら、やはり全ての事業に地域包括支援センターが関わってきている事業だな、ということを感じました。
- 地域包括支援センターの中でも色んな知識を持ちながらの運営ということで、日々調整をしているところだと思いますけれども、まだまだ人口全体を考えたら及ばないところもいっぱいありますし、パブリックコメントで出ていた「住民主体でのサポーター養成講座を提案します」というような言葉もあったので、本当に住民主体での活動が広がっていけば、そういうところの働きかけっていうのも必要になってくるのかな、と思いました。

【関係者】

- 関係者で参加をさせていただきまして、なかなかきついことも話しさせていただいたかもしれませんが、今回事業をもうちょっと整理できたらな、という意見を出させて頂いた。
- 高齢者のための施策とはいえ業務が多岐に渡っているので、さっきの配食サービスと緊急通報システムもそうですが、いくつものサービスでフォローできていて、こっちのサービスがあるからこっちのサービスは必要性が下がっているのではないかと、という事業も出てきているのではと思うの

で、実施している事業の縮小や終了というのは大変だと思うのですけれども、業務が大変になっているという中ではそういったところも検討していただいた方がいいのではないかな、と思いました。

【委員】

- 皆さんお疲れさまでした。お世話になりました。事務局の皆様大変お疲れ様でございました。
- 今回第5回会議の意見書では私は「なし」ということで、かなり申し上げさせて頂いたこと、発表させて頂いたことが反映されているな、という風に思っております。
- 会長とともに医療の現場から来ている者として、少し違う角度から、特にp37にありますように「地域包括ケアシステム」これからは高齢社会、すでにもうコロナで2025年問題が来ていると病院業界では考えておりますし、実はコロナがまた流行ってきておりますし、そこにインフルなどの感染が重なると、4人床の一人になると3ベッド使えなくなるわけですから、医療機関のベッドという意味での社会資源は限られていて、かつご年配・障がい者の方というのはお体の治療が終わったとしてもお家に戻れない、社会復帰できないというケースが多く、ますますベッドが足りないということで、医療と介護、医療と福祉、社会保障ということは切っても切れない問題と思っています。
- そんな中でマイナーなケース、実践の中で声を出させていただきました。
- ここで発言したからなのかはわかりませんが、先日こども育成課の方がいらっしゃって、横断的でヤングケアラーの対策の要綱を作りました、ということで冊子とパンフレットをたくさんお持ちいただきました。
- 本来臆病者なんですけれども、声を出してみた甲斐があったと思います。
- 声を出させていただいて、そういう施策に繋がれば、病院に来ることをきっかけに潜在していたものが顕在することもありますので、ぜひ福祉医療、社会保障、教育、生活支援と一体となってやっていくことが、縦割りではなく横断的などところで施策を考えていくのが大切だと感じました。
- 皆さんお疲れさまでした。

【委員】

- こういった委員会に参加させていただいて、こういう計画がこういった具体的に細かく色んなものがあるんだということ、私たち保健医療・福祉に関係する関係者であれば何かしらのきっかけはあるかと思うのですが、実際にはこういったものを直接的に知らない市民のためにあるわけですよ。
- 市民の中から選ばれた委員の皆様方の様々な視点や、周辺でのニーズなんかは様々ある中で「知らない」「繋がらない」という部分が現場でも大きな問題であると思っています。
- 皆さんご存じの通り、いくらいい計画があっても上手に運用して繋げていかない限りはそれも宝の持ち腐れになってしまうというところで、どうやって周知していくかというところが大きなポイントなのかな、と再認識いたしました。
- そういった中で市の関係者の皆様もご尽力くださっているかと思うんですけれども、大々的にこういったものがありますよといった広報活動なんかにもより力を入れていただいて、本当に必要な人は「必要ない」「利用したくない」と言ってしまうことも多いため、地域の繋がりを大切にしていきながら、そういったサービスを受け入れてくれる関係性を作れるような活動も行いながら、こういったいい計画を使っていければ皆さん安心して生活できるのではないかな、と思いました。

【委員】

- 委員として参加させていただいて、やはり知らないことが多いなと思ったのと、先日も地域のコミセンを使って月2回ストレッチ体操をしているところのまとめ役をしているのですが、終わってから「私たちは払ってばかりなのよ」とサービスを享受しないというようなことをおっしゃる方がいた。
- 「サービスを使わないということはいいことである」ということを伝えましたが、元気なお年寄りが使えるサービスもたくさんあるので、そういったことも皆さんにお伝えしたいと思ったことと、今回職員の方への敷居も低くなったので、使い勝手が悪いところもどんどん言っていいのだな、とも感じましたので、これからも市民の声を伝えていきたいな、と思います。

【委員】

- 四葉のクローバーもできて30年くらいになりましたが、介護者の会ということを知らない方も多いので、私は「お互い

様のお世話様」でこれからもお節介なお嬢ちゃんとして、目立たぬように、でもしっかり皆様のお役に立てるように、高齢者プランを参考にしてお家に置いて「あの人はこれ使えるかな」と見れるように頑張っていきたいと思いました。ありがとうございました。

【委員】

- 私は民生児童委員の立場で参加させていただいて、8期までの計画を存じ上げませんでした。
- 民生委員といいますが、大変経験のある方と私の地区については私も含めまだまだ経験不足な部分が多いのですが、今回一緒に読ませていただいたことで、海老名市の施策がこんなに細かく、そしてこんなに多くの方々の努力でされているんだと思ったら、本当にいい会に参加させていただいたと思いました。
- 私が何かできるかなと考えたところ、自治会の役員会や老人会の役員会、地区の民生委員の定例会などで会議の様子や内容を民生委員の皆さんにお伝えすることはできるな、と思っています。
- 自分の地区の中で「どういう人にどういうケアが使えるのか」ということも、これから勉強しながらできるなと。
- 今私が住んでいる自治会の中では「共助」ということでお互い助け合っていないとやっていけないね、ということでみんなで助け合っていないとダメなんだろうな、という意識が小さい炎が大事に大事に育っていますので、そのことを地域に帰ってこの会議のことをお伝えしたいな、と思いました。本当にありがとうございました。

【副会長】

- ありがとうございました。まずはこの高齢者プラン21第9期を策定・計画してくださいました関係機関の皆様に御礼申し上げます。
- このプランが生きたものになるためには「プランができました」ではなく、これから現場で直接高齢の方と関わっている方の意見を反映していただいて、高齢になっても安心して海老名に住んでいられるね、と言われるような海老名市になってほしいと願っています。
- 私も色々な会に出させていただいているんですけども、この策定委員会は、会長のとてもお上手な進行でみんな必ず意見を言って帰る。大体1つか2つの意見で終わりになるの

が、この会は本当に皆さんが意見を出していただいて、意見を言うということはしっかり読んで、自分の中で把握していかなければならない、本当にこのプラン大きいものですが30%くらいは頭の中に入ったかな、と感じています。

○ 本当にありがとうございました。

【会 長】

○ 皆さんどうもご意見ありがとうございます。

○ 実は司会が嫌で、短時間で皆さんの意見をどうやって言っていたか、気が重いです。

○ 何回か会議担当させていただいたんですが、今回の委員の皆さんはよく色々意見を出してくださって、本当にありがたいと思います。

○ パブコメも多くの方から意見をいただいていますね。本当にありがたいです。

○ 参加していただいて「なんでも言っていんだ」と思いませんか。相手がお役所でも、やはり現場・生活している人たちの意見を入れなければいけない。

○ 会議の時に何か言ってくださいと言っても、その時に出てくる意見はたかが知れているんです。これから計画が動き出して、それぞれ皆さんが感じていることなどなど、あるいは地域からご意見があればいちいち事務局に言ってもらいたいと思うんですよ。事務局は次の計画に盛り込んでいくというような、そういうことができればいいなと思います。

○ 先ほどから皆さん仰っている通り周知の問題とかありますね。市民の方は自分からアクセスして知ろうとしない限りはわからないというのはもったいない。プッシュ型というか、こちらから皆さんに提供する。その代わりフィードバックをお願いします。そういったやり取りが今後行われていきつつ、次の高齢者の計画の方に反映されていけばいいのかな、と思います。

○ 皆様方一年にわたりましてご協力いただきましてありがとうございました。それでは事務局にお返しをいたします。

4 閉会

《事務局の進行により閉会》